

2012年度の 交換留学生19人が 報告会で体験語る

去る2月7日(木)、2012年度派遣交換留学生帰国体験報告会が実施された。この年、交換留学生としてアメリカや中国など9か国の協定校に派遣された学生は19名。留学体験や学びを生き生きと語り、言葉の壁や文化の違いに悩んだことも率直に話しながら、共通していたのは「留学してよかった」という言葉と笑顔だ。これから留学に向けて準備をしていく学生たちにとって、何より励みになったにちがいない。

2014年度 派遣交換留学生募集説明会
7月上旬開催予定!
詳しくは▶国際交流教育センター(1号館地下1階) TEL072-641-9631



Sports

吉田胡桃さん・ 中牧佳南さん シンクロ日本A代表に

2012年11月15日〜18日にドイツで開催された「アジア選手権大会シンクロ競技」、および11月30日〜12月2日に 멕시코で開催された「FINAシンクロワールドトロフィ大会」に国際教養学部アジア学科4年生の吉田胡桃さん、同英語コミュニケーション学科3年生の中牧佳南さんが出場。両大会において、日本は総合2位という好結果を残し銀メダルを獲得した。



▲写真左が中牧佳南さん。右が吉田胡桃さん。

さらに、12月22日、国立スポーツ科学センター(JISS)で「第15回FINA世界水泳選手権大会」および「第27回ユニバーシアード競技大会の日本代表派遣候補選手選考会」で、両名ともにシンクロ日本A代表選手に選出。今後は両名ともに2013年7月にスペイン・バルセロナで開催される世界選手権大会に向けて、強化合宿に参加する予定となっている。

Event

一緒に本を 選びませんか? 学生選書参加者募集!

「学生選書」とは、図書館の本を、学生自身で選ぶという企画。「学生による学生のための選書」で、図書館をもっと楽しくしよう!

大型書店の店頭でリアル選書「学生選書ツアー」を実施するほか、パソコンやスマホで本を選ぶ「WEB選書」企画など年に4回程度実施している。1人でもグループでも参加OK。気軽に参加しよう!

店頭選書「学生選書ツアー」募集

【日時】5月11日(土) 14~16時
【場所】MARUZEN & ジュンク堂書店 梅田店大阪(チャスカ茶屋町)
【参加費】無料(現地までの交通費は自己負担)
【申込先】図書館 ☎072-641-9638

※定員になり次第締め切ります(先着順)
※選書にはいくつかの条件があります。詳しくは図書館掲示のポスターや図書館ホームページをご覧ください。



「ちょっとくらい」は大丈夫?

人権について考えよう

社会学部 上石圭一 教授

人権と水はよく似ています。人間の体の50〜75%は水でできており、水なしで人間は生きていくことができません。人権もまた、人間に生まれつき備わった権利であり、それなしでは、人間らしく生きることができません。ですから、人権も水も人間にとって重要なもので、大切にしなければなりません。これは、とても当たり前のことです。私たちは、このことを充分知っていますし、折に触れ、これらに関する言葉を見聞します。

しかし、私たちは本当にこのことを理解しているのでしょうか。つい、うっかり適切な処理をしないまま排水を流してしまったり、つい、調子に乗って友人をからかいたり、しまったり、そんな経験は誰にもあるのではないのでしょうか。そんなと



き、私たちは反省するよりは、むしろ「ちょっとくらい大丈夫」と誤魔化してしまいがちです。当たり前過ぎて無頓着になり、正解を知っているということをしぼしば別物にしてしまうのです。

では、「つい、うっかり」された側はどうでしょう。水も人も、ある程度は受けた影響を自浄することはできますが、それが追いつかないとダメージが溜まっていく一方になります。そしてリミットを超えてしまつたら、ちょっとやそつでは回復できません。このリミットは外からではわかりませんが、もしかしたら超えてしまつて誰にもわからないものなのかもしれません。だからこそ、最大限の配慮が必要なのです。

大学では誰もが等しく充実した学生生活を送る権利を持っています。その実現のためには、自分も他者も等しく尊重する気持ちが欠かせません。「当たり前」のことに敏感になることが重要なのです。そして、もし困ったことがあったら、ぜひ声を上げてください。愚痴でも構いません。抱えきれなくなる前に、誰かに渡して下さい。あなたが、あなた自身の最良の理解者になつてください。それが、何かを変えるきっかけになるはず。一人一人の力で、大学が皆さんにとってより良い学びの場となることを心から望みます。

BOOK INTRODUCTION

追手門学院大学 教員の著書 [五十音順]



MANAGEMENT OF SERVICE BUSINESSES IN JAPAN
池田 信寛(経営学部)共著
2012年12月 / World Scientific Publishing



「慰安婦」問題の解決に向けて
志水 紀代子(心理学部 名誉教授)共著
2012年9月 / 白澤社



ミュージル 伝記 2
水藤 龍彦(基盤教育機構)共訳
2012年12月 / 法政大学出版局



合理性の考古学 フランスの科学思想史
武田 裕紀(基盤教育機構)共著
2012年12月 / 東京大学出版局



最新消費税法事例選集
(平成24年12月改訂)
田淵 正信(経営学部)共著
2012年12月 / 清文社



記憶をつなぐ 津波災害と文化遺産
橋本 裕之(社会学部)共著
2012年9月 / 財団法人 千里文化財団



世界のなかの柳田国男
橋本 裕之(社会学部)共著
2012年11月 / 藤原書店

学内刊行助成制度による出版



謎解きのことば学
稲木 昭子(国際教育学部)著
2013年2月 / 実宝社



複数解法提示による算数の学習促進効果
河崎 美保(心理学部)著
2013年2月 / ナカニシヤ出版



悲嘆の心理療法
倉戸 由紀子(心理学部)著
2013年2月 / 丸善ブライノ



英国世紀末文化とオスカー・ワイルド
新谷 好(国際教育学部)著
2013年2月 / 実宝社



ストック・オプション会計
山下 克之(経営学部)著
2013年2月 / 白桃書房



離別と共同養育
香根 京子(社会学部)著
2013年2月 / 世界思想社



日本の近代化と障害者
李 義昭(経済学部)著
2013年2月 / 晃洋書房



「未来を照らす 追大光の祭典2012」
キャンドルナイト開催しました！
本学学生と職員による共同企画が昨年12月4日(火)に開催された。工夫を凝らした3つのオブジェやキャンドルツリ、未来への願いを書いたメッセージキャンドルが学院を彩り、多くの来場者を楽しませた。当日の様子はキャンドルナイトホームページのギャラリーページで閲覧できる。

ギャラリーページ ▶ <http://www.otemon.ac.jp/candlelight2012/gallery.html>

チアリーディングチーム「Gold Rush」と国際交流。
3月3日(日)、サンフランシスコを拠点とする全米プロフットボールチーム(Gold Rush)のチアリーディングチーム「Gold Rush」のメンバー10名が、茨木キャンパスを訪問し、本学のチアリーディング部 Soldiers との交流を行った。お互いの演技を披露した後、Soldiersのメンバーは世界的にも有名な「Gold Rush」のチアリーダーからダンスクリニックを受け、一緒に演技練習を実施。日米の若者のスポーツを通して、国際交流の機会になった。



学生表彰の審査結果が発表されました。
本学で学業や文化スポーツなどで優秀な成績を修めた学生・団体、本学の名誉を著しく高めた学生・団体を表彰する学生表彰の授与式が3月13日(水)に開催され、8個人、2団体が坂井東洋男学長より表彰された。最優秀賞には大学コンソーシアムの学生公募事業、「人と人との関わり事業」に採択された「ウツトーク！くう病を乗り越えた者たち」の企画代表者、山下貴弘さん(心理学部心理学科2013年3月卒業、受賞時4年生)が選ばれ、副賞10万円が坂井学長より贈られた。

- 最優秀賞
- * 山下 貴弘
心理学部心理学科
2013年3月卒業
- 優秀賞
- * 宮川 範子
心理学部心理学科
2013年3月卒業
- * 和久 義忠
心理学部心理学科 3年生
- * 堀部 綾乃
国際教育学部
英語コミュニケーション学科
2013年3月卒業
- * 学生企画広報スタッフ
12名
- * キャンドルナイト2012
学生スタッフ 46名
- 奨励賞
- * 兒玉 依里子
経営学部マーケティング学科
2013年3月卒業
- * 大江 玖美
国際教育学部
英語コミュニケーション学科
2013年3月卒業
- * 原田 保奈美
国際教育学部
英語コミュニケーション学科
2013年3月卒業
- * 岡崎 雄悟
経営学部
マーケティング学科 2年生

吹奏楽団、春もイベント多数！
ポップスからマーチング、シンフォニックなど様々な音楽を楽しむ音楽団体「吹奏楽団」。楽器が好きな人、興味ある人はぜひ一度見学を。回室、学友会センター3階。

吹奏楽団イベント情報

キャンパスドリル

- 日程 4月9日(火)・18日(木)昼休み
- 場所 ファミマ前ゼブラスクエア
- 内容 楽器を持って動きながら吹くマーチング。ファミマ前の広場を全面活用してのパフォーマンスは圧巻。

キャンパスコンサート

- 日程 6月29日(土)
- 場所 学生会館大ホール
- 内容 新入団員と共に迎える最初のステージ。シンフォニック・ポップスを中心に構成。

入賞学生団体一覧
[9月~2月]

団体名	開催時期	大会名等	実績
硬式野球部	9月~10月	阪神大学野球連盟 秋季リーグ戦	2部東リーグ3位 ベストナインに2名選出 ■ 経済学部経済学科2013年3月卒業 平田 貴士 さん ■ 経済学部経済学科 4年生 川西 良貴 さん
漕艇部	11月9日~11月11日	関西学生秋季選手権	男子シングルスカル4位
ソフトテニス部	9月23日	関西学生ソフトテニス 秋季リーグ戦	5部D優勝
洋弓部	12月1日	第17回関西学生アーチェリー インドア選手権大会	決勝2名進出

Event

Topic

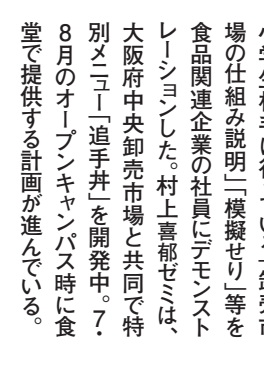
Interview

Event

Club & Circle



▲大阪府中央卸売市場「市場開放デー」



▲ワードコンベンション

大阪府中央卸売市場に 本学特設ブースが出現
昨年11月11日(日)、大阪府中央卸売市場(茨木市宮島1-1)で「市場開放デー」が開催された。追手門学院と同市場との事業連携第2弾として、本学経営学部村上喜都ゼミの学生5名が、子どもたち相手に「ウナギつかみ取り」「果物・野菜の産地当てクイズ」を体験し、体感を担当した。この「市場開放デー」は、2006年から毎年開催されているもの。会場には「追手門学院大学」のポスターがはためく特設ブースがつくられ、学生の威勢の良い掛け声と子どもたちの元気いっはいの歓声が響いた。

フードコンベンションでも 村上喜都ゼミが大活躍！
今年1月17日(木)にインテックス大阪で開催された「フードコンベンション2013」でも村上喜都ゼミの学生5名が活躍。普段、小学生相手に行っている「卸売市場の仕組み説明」「模擬せり」等を食品関連企業の社員にデモンストラーションした。村上喜都ゼミは、大阪府中央卸売市場と共同で特別メニュー「追手丼」を開発中。7・8月のオープンキャンパス時に食堂で提供する計画が進んでいる。

Topic

Interview

地元つ子と「おうてもんジュニア」
クラブやサークルに所属する追大生が「先生」になり、地元北摂の小学生にオートやスポーツの楽しさを伝える「おうてもんジュニアキャンパス」。学生たちを主人公に、子どもたち

「自分を信じて、前を向いてがんばって」
本学卒業生の女優・六車奈々さん取材
11月16日(金)、心の教育「スベシヤリストになる」第12回の講師として、本学卒業生で女優タレントの六車奈々さんが大阪城スクエアに来校。自信・自分を信じていくこと」と題した講演を前に、学生広報スタッフフが本人インタビューを行った。

Q どんな学生時代でしたか？
A クラブ・色の4年間で。私のいたアメリカ民謡研究部(アメ民)は本当に厳しく、上下関係も活動自体もすべてにおいて厳格な規律があり、規律正しいのが当たり前前の環境でした。大学のクラブ活動って「小さな社会」なんです。その中で、社会のむずかしさも、みんなを何かをつくりあげる喜びも学ばせてもらいました。今もアメ民の仲間とはSNSでもつながっていて、1~2年に1回必ずライブをします。会えば「瞬で学生時代に戻れる大学の友達」は私の生涯の宝物です。

Q 16歳から芸能活動をされていましたが、どのように両立を？
A 大学時代はクラブに打ち込んだ分、モデルの仕事は不完全燃焼気分。思えばそれがあったからこそ、大学4年で進路を決心するとき、「この道で自分の可能性を試してみたい」と決心できたのかもしれない。

Q 壁にぶつかったことは？
A 何度もあります。なかでも苦しかったのは、上京してしばらくの頃。2005年にオーディションでTBS系「病院へ行こう！」の主役をいたたき、大阪から東京へ。でも、それが終わった途端スケジュールが真っ白になっただけ。週1回のレギュラー仕事以外に予定が入らない日が続くうち、どんどん自分に自信がもてなくなっていました。

Q 追大生へのメッセージ
A 在学生のみならず、打ち込める何かをもち、4年間という自由な時間を満喫してください。卒業生のみならず、自分を信じてがんばりましょう。春は必ずめぐってくる。お互い笑顔で毎日を楽しみましょう！



六車 奈々 さん
1973年生まれ。京都市立日吉ヶ丘高校、追手門学院大学文学部アジア文化学科卒業(96年)。競馬と健康に通じたタレントとして、関西テレビ系「サタウま!」(2011年放送終了)など各種メディアで活躍。健康啓発等の講演・ライブを多数実施。現在、読売テレビ「ビートたけち」でお買いもの、毎日放送「それゆけ! メッセンジャー」などでレギュラーをつとめ、サンケイスポーツにコラム「奈々の第六感」を土曜連載中。日本成人病予防協会認定講師・健康管理士の有資格者。